

公開文書

令和 4年 6月 22日 (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することを ご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 寛骨臼骨折に対する骨盤模型を用いたプレート成形の有効性を検討する観察研究

【研究責任者】 水戸医療センター 整形外科 医師 森田純一郎

【研究の概要】

寛骨臼骨折に対して良い治療成績を得るためには、解剖学的整復を得て、プレート・スクリューで正確に保持する手術を行うが、限られた術野の中で神経血管束を避けながら複雑な立体構造にプレートを正確に合わせて成形する必要があるため、難易度が高く、手術時間も長くなる。

骨盤模型や、CT画像を基に作成した三次元石膏実体模型に合わせて事前に成形したプレートを手術で使用した報告があるが、骨盤形態の個体差や費用面で課題が残っている。

人工関節置換術などの高難度な手術前には、CTデータをを用いて3Dソフト上で術前計画を行うことが一般的だが、寛骨臼骨折に使用するインプラントの3Dデータが公開されておらず、3D上で術前計画を行えない。骨盤模型を用いて、予め成形したプレート・テンプレートが、さまざまな患者の骨盤に十分適合すれば、手術時間の短縮や合併症の減少に寄与する可能性がある。

本研究の目的は、骨盤模型を用いて成形したプレート・テンプレートが3D骨モデルにどの程度フィットするかを解析し、寛骨臼骨折手術において有効かどうかを評価することである。

【個人情報の取扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施される。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施する。通知の方法は国立病院機構水戸医療センターのホームページに掲載または病院内に掲示することで行う。

【問い合わせ先】 国立病院機構水戸医療センター 整形外科 医師 森田純一郎

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788